

平成 30 年度

生活介護事業所 アンジュ

事業計画

統括計画

平成 30 年度の計画としては、9 月以降に新規事業所の開所に伴い、アンジュが二つに分かれるかたちとなる。次に上げた項目に取り組み、各事業所の円滑な運営管理を行う。

(1) 新規事業所の開所

新規事業「シャングリラ」の開所に向けた準備を計画的に進める。開所後は高齢化、重度化した利用者へ生活する上で必要な入浴を安心・安全に入ってもらくため、個浴型介護浴槽と車椅子介護浴槽を利用し、入浴支援を柱とした活動を提供する。

(2) 事業所間の連携

新規事業所の開所に伴い事業所が分かれたかたちになるが、送迎、活動、行事等、事業を越えた協力体制をつくり生産性、効率性を上げられるような事業者間の連携を築いていきたい。

(3) 高齢知的障害者の支援検討チームの立ち上げ

高齢化対策ではなく高齢知的障害者の支援を今、行っている。今後、事業所として何ができるか、何を大切にしていくか、高齢知的障害者の支援をどうするかたちで行っていくか等、高齢者支援検討チームを立ち上げ検討し実践する。

(4) 各従たる事業所の今後について検討する

モモズレシピは新事業所開所に合わせ、従たる事業所としての届出を廃止する。キッチン kiss のお弁当作りと配達、エコライフプラザの喫茶タッセル、ゆず屋販売事業については、高齢化や活動希望者の減少もあり、現状のままの継続は困難な状況になっている。法人内通所事業所で業務移管ができないか検討していく。

(5) 人材育成

求められる支援は何かを見極める目と支援する力を学び、考える力を育て、現場力の向上を図る。

1. 事業の運営理念

- 利用者の人権と自己決定を尊重した支援を行います。
- 利用者の個性と自主性、主体性を大切にした支援を行います。

2. 事業の運営理念

本年9月以降に新規事業所「シャングリラ」が開設され、従たる事業所「オリーブ」の利用者を中心に主に介助が必要な利用者が移動する形となる。従たる事業所「モモズ」も9月に廃止する事で活動内容が大幅に変更となる。残る予定の利用者の平均年齢も約58歳と高齢化が進んでいる状況は変わらず、体制変更に伴い、活動内容もより個別性・高齢化対策に重きを置く形になる。作業全般については、働く事が生きる意欲に繋がっている面もあり、意欲的に取り組めるよう進める。また、様々な活動を通して社会や誰かの役に立つ事を日々感じる事で満足感を高める事を中心に、心豊かな人生を送れるよう支援していく。

3. 目標

- ①様々な日中活動を用意し、各利用者に合った活動を提供する。
- ②土曜日又は祝日に通所日を設け、余暇活動の充実を図る。
- ③9月以降も「シャングリラ」と連携し、送迎や行事等を合同で行う。

4. 職員体制

○職員体制

	管理者	サビ管	支援員	看護師	販売員	事務員	計
常勤	1	2	15	1(兼)		1	19
非・パート			7		1	1	9
合計	1(兼)	2	22	1(兼)	1	2	28

- 外部講師 理学療法士(1名)月3回
音楽療法士(2名)月2回

5. 利用者状況及び活動時間、定休日

○障害支援区分 定員80名(3月末現在 75名)

区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	5	10	16	10	5	46
女	7	6	6	5	5	29
計	12	16	22	15	10	75

○活動時間 9時～16時

○定休日 土日祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

夏休み(8月13日～8月17日)

○祝日については、通所日を設ける事もある。

6. 支援方針

①個別支援計画に基づき利用者のニーズ・課題に見合ったサービスの提供を行う。

②利用者の個性や障害特性に配慮した作業・活動を提供する。

③活動を通し達成感・充実感を感じてもらえるよう心掛ける。

7. 利用者支援

目標

それぞれの方に合ったペースで作業・活動を行えるようゆとりをもったプログラムとする。高齢の方も多く、今後の機能低下が懸念される為、より多く外に出る機会を持つ等、機能維持にも取り組む。

(1) 活動内容

①生産活動

○受注作業

- ・(株) 東栄社 (オルゴールの組立・種と発芽と成長を主な受注とする。)
- ・(株) 小笠原 (ボールペン、シャープペンの組立・コネクター)
- ・(株) プラコス (シャープペンの組立、その他)

○委託作業

- ・清掃

原町成年寮地域生活援助センターの1～4階までの清掃

- ・従たる事業所キッチン Kiss・原町食堂での食事提供

○レンタルタオル

- ・近隣グループホームへ布巾等の貸し出しと回収

②自主生産活動

○従たる事業所モモズレシピでのシフォンケーキの製造と販売

○しめ飾り・リサイクルペーパーポット・フラワーポット・アクリルたわし・髪飾りの製作と販売。区役所販売会・地域販売会等で販売する。

③創作活動

クラフトバンド・裁縫・編み物・ロールピクチャー等、利用者が希望し選んだ物を月に1度作成し、物作りを通し自信や満足感を得てもらう。火曜日・木曜日(月2回ずつ)

④クラブ活動

手習い・運動・芸能クラブの3つに分かれて活動する。

○活動日：第4木曜日 9：30～14：50

○活動場所：アンジュ2階・立石地区センター別館（勤労福祉会館）

⑤体力・筋力の維持の取組み

ラジオ体操・介護予防体操・嚙下体操等を毎日行う他、週に1度は散歩・買物等で外に出る機会を設ける。

⑥機能訓練

理学療法士による定期的な訓練と専門的なりハビリ訓練を職員も学び機能維持に努める。

⑦行事・余暇活動

エコライフプラザの休館日を中心にグループ外出を行う他、祝日の通所日を利用し余暇活動を行い、生活の幅を広げる。

○行事

- ・グループ外出（4月～8月）
- ・納涼お楽しみ会（8月）
- ・還暦を祝う会・年忘れお楽しみ会（12月）

○余暇

- ・祝日を中心に活動する。内容は利用者の希望を聞き決定する。その他、平日を利用し昼食外出を行う。

8. 従たる事業所「オリーブ」（シャングリラへ移行）

目標

日中を安心して楽しく過ごせるよう、毎日の様子を観察して健康維持を図ると共に個々の能力に合った活動を提供する。また、日々運動する機会を設け、機能維持や気分転換を図る。

(1) 活動内容

①運動

②軽作業（一部利用者）

③音楽活動

○活動日：第1・3木曜日 11：00～12：00

○活動場所：立石地区センター別館（勤労福祉会館）

○講師：2名

④クッキング

⑤外出（個別又は少数）

⑥機能訓練（理学療法士／月3回）

9. 従たる事業所「エコライフプラザ」

目標

ゆず屋・タッセルでの活動を通し目標を持ち、能力に合わせて向上して行く喜びや楽しみを感じてもらおう。また、利用者が地域に出て活動する事により社会参加の機会とする。更に利用者、職員、お客様問わず多くの方々が安全で安心出来る場所として利用出来る店舗を目指していく。

(1) 日用不用品コーナー「ゆず屋」

①活動内容

不用品の店頭回収、仕分け、選別、商品化、値段付け、販売品の整理及び陳列、接客、清掃、宣伝等を行い、また、自主生産品の販売も行う。

仕分け場所「まーち」にて不用品の仕分け、選別、値段付けを行う。

②営業時間及び定休日

○時 間 9:00～18:00

6月1日～ 平日のみ 10:00～17:00

○定休日 毎週木曜日・年末年始 12月29日～1月3日

立石図書館特別整理期間 6月18日～6月21日

但し、木曜日が祝日の場合通常営業となり、翌日が定休日

③活動時間及び人員配置

○利用者

平日 9:30～11:30 (4名) 13:00～15:00 (4名)

土日祝日 10:00～15:00 (1～2名)

・土日祝日については、自力で通所出来る利用者を対象とする。

○職員

平日 9:00～18:00 (2名) 6月1日～ 9:30～17:00

土日祝日 9:00～18:00 (2名)

④まーち活動日・活動時間及び人員配置

○利用者・職員

月・水・金曜日

9:30～11:30 (利用者6名・職員2名)

13:00～15:00 (利用者6名・職員2名)

(2) 喫茶コーナー「タッセル」

①活動内容

接客、レジ打ち、配膳、洗い物、調理補助等、それぞれの能力に合わせて活動する。

また、キッチン Kiss で作ったランチ弁当の販売を行う。

②営業時間及び定休日

○時間 10:00～17:00

- 定休日 毎週木曜日・年末年始 12月29日～1月3日
立石図書館特別整理期間 6月18日～6月21日
但し、木曜日が祝日の場合は定休日、翌日はエコライフプラザが休館の
為、定休日となる。

③活動時間及び人員配置

○利用者

平日 9:30～12:30 (2名) 12:30～15:00 (2名)

土日祝日 10:00～15:00 (1～2名)

- ・土日祝日については、自力で通所出来る利用者を対象とする。

○職員

平日 9:00～13:00 (2名) 13:00～17:00 (2名)

土日祝日 9:00～17:00 (2名)

(3) 食品衛生及び食中毒の予防

- 手洗いの指導の徹底。アルコールスプレーの使用。
- 厨房内は水掃除とハイターを使用して清潔に保つ。
- 毎日冷凍庫、冷蔵庫の温度チェックを行う。
- 食品の保存チェックを行い、長期保存を防止。
- 製造過程での使い捨て手袋、マスクの着用。
- 毎月細菌（検便）検査を行う。
- 毎日利用者、職員全員が衛生管理チェックシートを記入する。

10. 従たる事業所「キッチン Kiss・原町食堂」

目標

利用者一人ひとりの適正に応じた役割を担ってもらい、やりがいを感じてもらおう。また、高齢の利用者も多い為、適宜休憩を取りながら無理なく活動出来るよう配慮する。

食事作りでは、栄養バランスの摂れた食事と季節に応じた季節食を取り入れた食事を提供する。

(1) キッチン kiss

①活動内容

お弁当作りの為の食材の買い出し、調理補助、洗い物、盛り付け、清掃、配達を行う。また、タッセルのランチ弁当を調理する。定期的に衛生面に関する意識付けの勉強会等を行う。

②活動時間、定休日及び人員配置

○利用者 (6名) 9:15～15:30

○職員 (2名) 8:45～17:15

○定休日 土日祝日、12月29日～1月3日

(2) 原町食堂

①活動内容

夕食提供の為の食材の買い出し、調理補助、洗い物、盛り付け、清掃を行う。

②営業日、時間及び定休日

○営業日 土曜日

○時間 17:00～21:00

○定休日 日～金・祝日の土曜日・12月29日～1月3日

③活動時間

○利用者（1～2名）13:00～17:00

○職員（2名）13:00～21:00

(3) 食品衛生及び食中毒の予防

- 手洗い指導の徹底。アルコールスプレーの使用。
- 厨房内は水掃除とハイターを使用して清潔に保つ。
- 毎日冷凍庫、冷蔵庫の温度チェックを行う。
- 食品の保存チェックを行い、長期保存を防止。
- 製造過程での使い捨て手袋、マスクの着用。
- 毎月細菌（検便）検査を行う。
- 毎日利用者、職員全員が衛生管理チェックシートを記入する。
- トイレの清掃管理表を記入する。
- 週に一回グリストラップの掃除を行う。

11. 従たる事業所「モモズレシビ」

目標

シフォンケーキの製造場所として8月末まで活動を行う。利用者によって出来る工程が違うが、それぞれが自信を持って活動に取り組めるようにする。

(1) 活動内容

○シフォンケーキ製造での工程補助、洗い物、清掃。

(2) 食品衛生及び食中毒の予防

- 手洗い指導の徹底。アルコールスプレーの使用。
- 厨房内は清潔に保つ。
- 製造過程での使い捨て手袋、マスクの着用。
- 毎月細菌（検便）検査を行う。
- まな板等の熱湯消毒を行う。

12. 健康管理

不調を訴える事が難しく、症状を自覚しにくい利用者が殆どの為、それぞれ日々の様子

を観察し、変化に気付けるようにする。また、感染症の情報を周知し、感染予防に努める。

- 健康観察の徹底。
- 職員の健康意識の向上、職員間の連携。
- 定期健康診断の実施。
- 毎月末の体重・血圧測定の実施、その他必要に応じてバイタルチェックを行う。

13. 地域交流

活動を通して事業所をPRし、地域の方に障害を持つ方への意識を高めてもらうよう働きかける。

- 地域販売会への参加。
- ボランティアの受け入れ。
- 福祉を学ぶ学生への現場実習の機会の提供、受け入れを行う。
- 区内中学校の職場体験実習の受け入れ。

14. 防災

地震や火災を想定した避難訓練を定期的に行い、非常時にも対応出来るようにする。また、日常的に荷物を整理し、避難路の確保に努める。

15. 苦情受付

- 苦情解決責任者、窓口委員を配置し、利用者の声を大事に扱う。
- ご家族や利用者からの苦情は口頭でも受け付け、対応を行う。
- 内容によっては、第三者委員の指導を頂き、円満な解決を図る。

16. リスクマネジメント

定期的に研修やケース検討会を行い、利用者の権利意識・安全に配慮した活動支援・事故発生時の迅速な対応方法等を共有化し、支援の向上に繋げる。

17. 職員研修・会議等

(1) 職員研修

外部研修・内部研修を通じ、利用者支援の向上と新たな活動への取り組み等の契機とする。

- ①外部研修
- ②内部研修
 - 個別支援計画作成に向けて（ストレングス視点）
 - 自閉的傾向がある方への支援
 - リスクマネジメント

(2) 会議

- 職員会議（第2木曜・第3水曜）
- 個別支援計画検討会議
- ケース会議
- サビ管・リーダー会議
- チーム会議

18. 第三者評価

第三者評価を受ける事により、サービスの改善点、意見を得て今後のサービスの向上に繋げる。

- 第三者評価機関 株式会社 にほんの福祉ネット
東京都福祉サービス第三者評価機関
東京都世田谷区松原3-38-16-107
Tel 03-3323-8368 Fax 03-6276-7212